鈴木（すずき）　秀明（ひであき）さん
メキシコ　マツダ株式会社
2021 年 7 月 25 日（日）中国新聞 SELECT 掲載

※中国新聞社の許諾を得ています

研修受け入れ　収穫実感

マツダはメキシコの CONALEP（国立技術専門学校）の教員を、国際協力機構（JICA）研修員として受け入れている。日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修計画（自動車製造コース）に基づくものである。

マツダのメキシコ工場建設、広島県とグアナフアト州との友好提携、JICA のメキシコ国自動車産業人材育成プロジェクトの開始などにより、メキシコとの関わりが深まってきたことが背景にある。

部品測定を通じ「理想を追求するものづくり」を学ぶ
（2019 年 10 月 28 日、マツダ社内）

「自動車製造コース」は、メキシコの教員が自動車製造の基礎を身に付け、関連企業で活躍できる人材を育てる。来日したメンバーは、マツダ短大での授業や実習への参画、製造現場の見学、県立広島工業高への視察を通じ、約 6 週間で自動車製造の知見を深めた。

また、日本での生活体験を通じて、規律（ルール順守）や 4S（整理、整頓、清潔、清掃）が、社内や教育現場だけでなく社会生活に浸透していることに一様に驚いていた。 これらが日本のものづくりの基盤となっていることを認識したようで、「帰国後も規律や 4S を教育に取り入れたい」との言葉をいただいた。

私たちにも大きな収穫があった。身ぶり手ぶりで意思疎通を試みる中で新たな価値観を学び、明るく親しみやすいメキシコ人気質が職場に活気をもたらした。 昨年、新型コロナウイルスの影響で来日研修は中止となったが、これまでの信頼関係を生かしオンラインでの取り組みを始めている。今後も広島県とグアナフアト州の友好提携に貢献しつつ、両国の自動車産業の振興に寄与できるよう相互交流の幅を広げていきたい。